

代表者



支 出 書

決定日：令和6年11月18日

支 出 金 額	38,000円
支 出 科 目	研修費
支 出 先	みらい久留米議員団 藤林 詠子
支 出 年 月 日	令和6年11月18日
摘 要 研修会参加費として 日時：令和7年1月21日（火）10:00～17:00 令和7年1月22日（水）10:00～17:00 場所：東京都千代田区 主催：一般社団法人チームまちづくり 内容：地方議会議員政策セミナー 「空き家対策」から考える地域の未来 ～多主体連携による政策デザインの変革・“地域”議会の役割 1月21日（火） ◇基調講演 空き家問題の本質に、地方行政はどう向き合うか ◇個の空き家対策から、エリアの空き家まちづくりへ ◇多主体連携による空き家からの「掘り起こし力」が地域を変える ◇フロアディスカッション ◇対話交流会 1月22日（水） ◇最先端の空き家まちづくりから「空き家対策条例」の発展的改正を考える ◇社会の困りごとに、多分野連携×多主体連携のソーシャルビジネスで挑む ◇行政×民間×市民の連携による本気度100%の空き家対策を語る ◇医師が商店街の空き店舗に小さな図書館をつくった理由～社会的処方で地域をつなぐ ◇フロアディスカッション ◇対話交流会 参加議員：藤林 詠子	

請 求 書

	¥	3	8	0	0	0
--	---	---	---	---	---	---

ただし、研修会参加費

上記の金額を請求いたします。

令和6年11月18日

みらい久留米議員団

代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団

氏 名 藤林 詠子

領 収 書

上記の金額を領収いたしました。

令和6年11月18日

みらい久留米議員団

代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団

氏 名 藤林 詠子



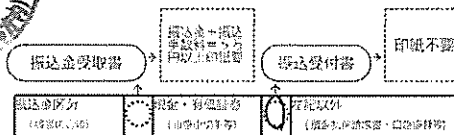
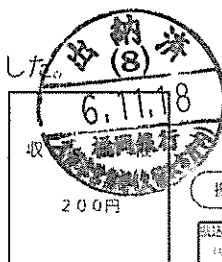
(電信振替専用)		振込金受取書 振込受付書		(兼振込手数料受取書)		●正午以降、特に午後2時以降店舗側は大変混雑いたしますので、振込依頼書はなるべく午前中にお持ちいただきますようお願いいたします。 ●ご記入相違などの不備がありました場合には、預金等のために、お振込が遅延することがあります。 ●通信機器・回線の障害または郵便物の遅延等やむを得ない事由によって振込が延滞することがありますのでご了承ください。	
2024年11月18日		金融機関名		支店名		預金種目	
お振込先		カナガキ		イッパノシヤダソホウジン チームマツクリ		金 額 38,000	
お受取人		カナガキ		カルメシギカイ ミライカルメギインダン		様	
ご依頼人		おなまえ		フジバヤシエ		様	
		TEL (0942 - 30 - 9305)		携帯 (- -)			

振込手数料
(別表10%)
770
〔振込手数料〕欄に記載の金額には、消費税が含まれています。

<ふくぎん>をご利用いただきありがとうございました。

株式会社 福岡銀行 (登録番号 T1290001004367)

* 振込金区分が「現金・有価証券」のときは「振込金受取書(兼振込手数料受取書)」として、「左記以外」のときは、「振込受付書(兼振込手数料受取書)」として使用しています。



R2122039 久留米市議会 藤林詠子 様

領 収 書

久留米市議会 みらい久留米議員団
藤林 詠子 様

金38,000円

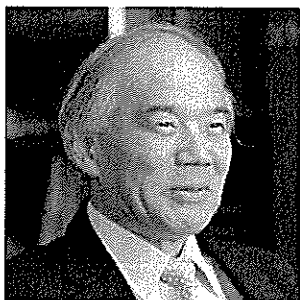
ただし、令和7年1月21日・22日開催 議員政策セミナー「空き家対策」から考える地域の未来－多主体連携による政策デザインの変革・“地域”議会の役割－の受講料(21-22日分)として 上記、正に領収しました。

令和7年1月21日

東京都千代田区神田美土代町1丁目2番地 東英ビル5階
一般社団法人チームまちづくり
理事長 大西 隆

「空き家対策」から考える地域の未来

—多主体連携による政策デザインの変革・“地域”議会の役割—



■ご挨拶

地方分権改革から25年を迎えるなか、地域社会・地方行政を巡る環境は大きく変化しています。

急速な高齢化と人口減少、多発する災害、空き家等による地域の空洞化、深刻化する社会的孤立、情報化社会への対応など複雑で多様な地域課題に対し、私たちは、課題の担い手を行政単独ではなく、多様な主体が連携・共創できる仕組みに変えること、そして、既存制度の延長線上ではない新たな課題解決のアプローチと仕組みを創り出すことが重要と

考えています。私たちは、このコンセプトを「政策デザインの変革」と名付けました。

この議員政策セミナーは、こうした考え方のもと、複雑・多様化する空き家問題を「政策デザインの変革」という観点から考える内容として企画しました。本セミナーが、地方議会のプレゼンスを高め、議員各位の政策提案力の向上と日頃の議員活動のさらなる充実の一助となれば幸いです。多くの議員の皆様のご参加をお待ち申し上げております。

令和6(2024)年9月

一般社団法人チームまちづくり 代表理事 大西 隆

日 時: 令和 7(2025)年 1月 21日(火) 10:00~17:00
1月 22日(水) 10:00~17:00

会 場: 全国都市会館(東京都千代田区平河町 2-4-2 アクセスは裏面をご参照ください)

対 象: 地方議会議員、政策スタッフ、議会事務局職員等

定 員: 会場 100名(先着順)(遠方参加者等に限りオンライン可。詳細は裏面をご参照ください)

受講料: 両日参加 38,000円 1日参加 19,000円 (いずれも税込)

セミナー 5つの特色

1. 参加者の問題意識や質問事項を事前に把握し、その内容を反映するよう努めます。
2. 著名講師の話を直接対面で聞き、講師への質問や意見交換が行えます。
3. 予算議会に向けて、議会質問や政策提言に関する相談をお受けします。
4. 新しい発想に基づき第一線で意欲的に活動を行っている当事者の講話を通して活動の本質に直接触れることができます。(実践紹介)
5. 参加者と講師、参加者相互の交流と対話が行えます。(対話交流会)



■第1日—1月21日(火)

空き家対策に関する「政策デザインの変革」を明らかにする!

2014年の空き家特措法制定後10年を契機に、行政主体から多主体連携に、個別対策から総合政策へと政策デザインの変革が期待される空き家まちづくりのこれからと行政・議会の新しい役割について、3名の有識者が具体的に問題提起を行い、参加者とともに議論します。

10:00~10:10 開講・ご挨拶・全体のご案内 (9:30 開場・受付)

10:10~11:50 (講義 70分、意見交換 30分)

●基調講演 空き家問題の本質に、地方行政はどう向き合うのか?

漂谷浩介さん (株)日本総合研究所主席研究員

キーワード:不動産神話、市場経済神話、東京神話、静脈産業不在、行政への押し付け
今に残る昭和の神話に従って量産され、市場経済の機能不全で放置される空き家。そのツケは結局、地方行政に回って来て、住民の将来負担を増やしかねません。2日間のセミナーの冒頭に、厳しい事実認識を共有し、取りうる行動を促します。

(昼食・休憩)

12:50~13:45 (講義 40分、意見交換 15分)

●政策デザインのヒント1

個の空き家対策から、エリアの空き家まちづくりへ

大月敏雄さん 東京大学教授・東京大学高齢社会総合研究機構副機構長

キーワード:コミュニティ、包括的居住支援、住宅地マネジメント
コミュニティの衰退と共助の劣化が懸念されるなか、住民がNPOや民間事業者と連携して、福祉や支え合いも包摂した住宅地経営への処方箋を示します。

13:50~14:45 (講義 40分、意見交換 15分)

●政策デザインのヒント2

多主体連携による空き家の「掘り起こし力」が地域を変える!

野澤千絵さん 明治大学政治経済学部教授

キーワード:都市のスポンジ化、街の世代交代、管理不全空き家
「老いる家 崩れる街~住宅過剰社会の末路」「老いた家 衰えぬ街~住まいを終活する」(講談社現代新書)の著者が、大量相続時代の街の世代交代に向けた政策のあり方を語ります。

(休憩)

15:00~16:00 (ディスカッション 60分)

●フロアディスカッション

大西 隆さん 東京大学名誉教授 元日本学術会議会長

漂谷浩介さん/大月敏雄さん/野澤千絵さん(いずれも再掲)

3名の有識者のプレゼンテーションを踏まえ、空き家対策を担う多様な主体の役割と共創のあり方、新しい発想による政策デザインの提案など、地方行政がとるべき具体的アクションとそのロードマップについて議論を深めます。

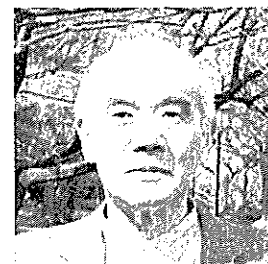
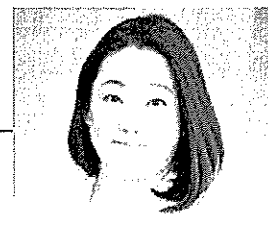
16:05~16:55 (自由参加 50分)

●対話交流会

フロアディスカッションで登壇した講師を囲んだ対話交流会をワールドカフェ方式で行います。また、予算議会に向けて、議会質問や政策提言に関する相談会を行います。(事前申込制)

17:00

閉会



■第2日—1月22日(水)

「社会的包摂」×「関係性の組み換え」が空き家対策の地平を拓く

多主体連携と従来にないアプローチで、社会課題に意欲的に取り組むチャレンジャーをお招きし、政策デザインの変革に繋がる最新の空き家まちづくりの紹介も行いながら、新しいノウハウや資金を地域と共有して「関係性を組み換える」ことについて、参加者とともに考えます。

10:00 開講 (9:30 開場・受付)

10:05~11:45 (講義 70分、意見交換 30分)

●最先端の空き家まちづくりから「空き家対策条例」の発展的改正を考える

松本 昭さん 一般社団法人チームまちづくり専務理事 東京大学非常勤講師

特定空家対策から空き家予防へ、自治会・NPO・民間等による住宅地マネジメント、ふるさと納税や企業寄附の活用など、行政主導ではなく、多主体連携で行う空き家まちづくりの最先端を紹介し、現行の空き家対策条例の発展的改正の要点を示します。

(昼食・休憩)

12:45~13:25 (紹介 30分、質問 10分)

●実践紹介1

社会の困りごとに、多分野連携×多主体連携のソーシャルビジネスで挑む!

中川 悠さん NPO法人チュラキューブ代表理事 (株)GIVE&GIFT代表取締役

高齢者福祉×空き店舗×障がい者雇用など、複数のジャンルの掛け算で生まれる新しい価値観で、社会課題に挑むソーシャルビジネスの仕掛け人が、当事者ならではの言葉で地域の「未来を変える活動」の本質をお話します。

13:30~14:10 (紹介 30分、質問 10分)

●実践紹介2

行政×民間×市民の連携による本気度 100%の空き家対策を語る

金子真也さん 栃木市都市建設部建築住宅課

「国土交通省空き家対策小委員会」に参画する栃木市。約2000戸あった空き家を1700戸余りに減少させるなど、豊富な実績をあげる公民連携の多様な空き家対策のリアルを熱く語ります。

14:15~14:55 (紹介 30分、質問 10分)

●実践紹介3

医師が商店街の空き店舗に小さな図書館をつくった理由—社会的処方で地域をつなぐ

守本陽一さん 医師 一般社団法人ケアと暮らしの編集社代表理事

兵庫県豊岡市の商店街で民間のシェア型図書館「だいかい文庫」を運営。まちの小規模多機能拠点として、病院では解決できない課題を地域で支える社会的処方を実践。暮らすことで誰もが健康になるまちをめざして。

(休憩)

15:00~16:00 (ディスカッション 60分)

●フロアディスカッション

中川 悠さん/金子真也さん/守本陽一さん/松本 昭さん(いずれも再掲)

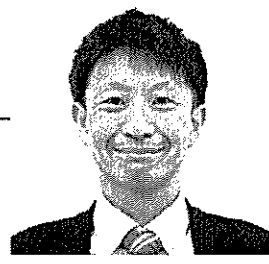
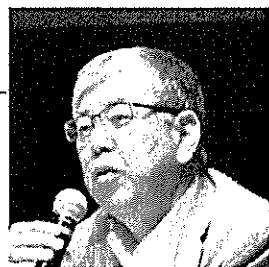
3つの実践紹介等を素材に、空き家・空き店舗を活用した多主体による連携・共創が、持続性ある包摂・共生型地域社会づくりに寄与するための行政・議会の役割について議論します。

16:05~16:55 (自由参加 50分)

●対話交流会

フロアディスカッションで登壇した講師を囲んだ対話交流会をワールドカフェ方式で行います。また、予算議会に向けて、議会質問や政策提言に関する相談会を行います。(事前申込制)

17:00 閉会



※セミナーの内容については、都合により一部変更になる場合があります。

■セミナーのお申し込み方法など

お申し込み(下記のいずれかの方法でお申込ください)

申込フォーム : 右 QRコード又は HPからお申し込みください

<https://www.team-machizukuri.org/>

FAX : 03-5577-4149 (下部の申込書をご利用ください)



申込フォーム

受講料(会場・オンラインとも同額)

1月21日(火)・22日(水) 両日参加 38,000円(税込)

上記のいずれか 一日参加 19,000円(税込)

- ①お申込確認後、受講案内及び受講料の振込口座をメールにてご案内いたします。
 - ②オンラインでの参加は、原則、遠方の方に限ります。なお、セミナー運営上、対話交流会、相談会への参加は難しいことをご理解願います。
 - ③各日、会場定員100名で締め切ります。また、12月末日時点で50名に満たない場合、受講料を全額返金し、セミナーを中止する場合があります。
 - ④セミナーの申し込み後、やむを得ずキャンセルする場合は、返金する口座情報を明記の上、必ずメールでのご連絡をお願いします。キャンセルする場合、令和7(2025)年1月11日以降のキャンセルにつきましては、キャンセル料が発生します。ご注意ください。
- ※その他、詳細は、当社ホームページをご覧ください。(下記 QRコード、URL)

会場及びアクセス

全国都市会館 3F 第2会議室

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2

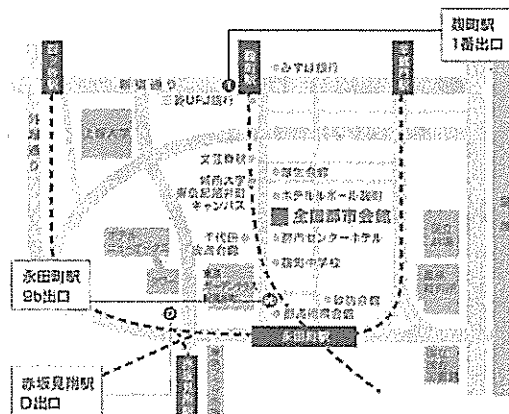
TEL: 03-3262-5231 FAX: 03-3261-5535

<https://www.toshikaikan.or.jp/>

(交通)地下鉄有楽町線「麹町駅」1番出口 徒歩 3分

地下鉄半蔵門線他「永田町駅」9b出口 徒歩 4分

地下鉄銀座線他「赤坂見附駅」D出口(弁慶口) 徒歩 7分



お問い合わせ

一般社団法人 チームまちづくり 議員政策セミナー担当

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 11-2 第一東英ビル 5F

TEL: 03-5577-4148 FAX: 03-5577-4149 MOB: 090-4128-2070(松本)

Mail: seminar@team-machizukuri.org <https://www.team-machizukuri.org/>



チームまちづくり HP

■参加申込書 (FAXは、このまま切り取らずに送信してください) ★=必須項目

★氏 名(ふりがな) ふじはら あい 藤原 詠子	所属団体名 久留米市議会 みらい久留米議員団
住 所 〒830-8520 福岡県 久留米市城野町15-3	
★電話(携帯) 0942-30-9305	★領収証宛名 みらい久留米議員団 藤原詠子
★メール gikai @ city.kurume.lg.jp	
★参加予定日(該当に○) 1/21・22(両日参加) 会場参加【 〇 】・オンライン【 】 1/21のみ参加 会場参加【 】・オンライン【 】 1/22のみ参加 会場参加【 】・オンライン【 】	

通信欄

*第三者への個人情報の開示・提供は、ご本人の同意がなければ行いません。

*ご記入頂いた個人情報は、当社主催のセミナー等のご案内に利用させていただく場合があります。

令和6年10月

地方議会議員政策セミナー
空き家対策から考える地域の未来

―多主体連携による政策デザインの変革・“地域”議会の役割―

一般社団法人チームまちづくり

このたびは、一般社団法人チームまちづくり主催の標記セミナーにお申し込みを頂き、誠にありがとうございます。次のとおり、議員政策セミナーのご案内をしますので、内容をご確認頂き、受講料のお振込みをお願い申し上げます。

1 受講料のお振込み

下記口座に受講料のお振込みをお願いします。(両日参加 38,000 円、一日参加 19,000 円)

お振込み時には、お名前の後にご所属を付記して頂けますと助かります。(例：チーム太郎 (〇市議会))

金融機関名・支店名：		口座種類・口座番号：		口座名義人：一般社団法人 チームまちづくり
------------	--	------------	--	-----------------------

2 受講票とセミナーテーマに関する意向把握

12 月から 1 月にかけて、空き家対策・空き家まちづくりに関する関心ごと、質問事項など受講者の皆様のご意向や問題意識を把握する調査票を、受講票とともにメールにてお送りしますので、ご協力をお願い申し上げます。ご回答頂いた内容は、セミナーへの反映に努めます。

3 議会質問や政策提言に関するご相談

セミナーテーマに関する議会質問や政策提言に関するご相談は、適宜メールにてお受けいたします。お気軽にご相談ください。

4 オンライン受講者へのご案内

オンライン (Zoom) によりご参加される皆様には、令和7年1月14日までに、オンライン URL 等をお送りします。なお、各日の最後にあります対話交流会、相談会などにつきましては、運営上ご参加が難しいことをご了承ください。

5 特記事項

- 領収書につきましては、セミナー当日、受付にてお渡しさせていただきます。
- ご宿泊や昼食等につきましては、各自でのご対応をお願いします。
- セミナー申込後、やむを得ずキャンセルする場合は、返金する口座情報を明記の上、必ずメールでのご連絡をお願いします。振込手数料を差し引いた金額をご指定の口座に振り込みます。なお、令和7(2025)年1月11日以降のキャンセルにつきましては、下記のとおりキャンセル料が発生しますので、ご注意ください。

令和7(2025)年1月11日～15日のご連絡	受講料の25%
令和7(2025)年1月16日～20日のご連絡	受講料の50%
開催日当日又はご連絡なしのご欠席	受講料の100%(全額)

- 令和6(2024)年12月末日時点において、参加申込者が各日50名に達しない場合、セミナーの開催を中止する場合があります。その場合、セミナー受講料は、全額をご指定口座に返金いたします。

(お問い合わせ先) 一般社団法人チームまちづくり 松本 昭
101-0053 東京都千代田区神田美土代町11-2 第一東英ビル5階
TEL03-5577-4148 FAX03-5577-4149 Mob090-4128-2070

Mail: seminar@team-machizukuri.org

Mail: a.macchan@nifty.com

代表者



支 出 書

決定日：令和6年11月18日

支 出 金 額	770円
支 出 科 目	事務費
支 出 先	みらい久留米議員団 藤林 詠子
支 出 年 月 日	令和6年11月18日
摘 要 振込手数料として 日時：令和7年1月21日（火）10:00～17:00 令和7年1月22日（水）10:00～17:00 場所：東京都千代田区 主催：一般社団法人チームまちづくり 内容：地方議会議員政策セミナー 「空き家対策」から考える地域の未来 ～多主体連携による政策デザインの変革・“地域”議会の役割 1月21日（火） ◇基調講演 空き家問題の本質に、地方行政はどう向き合うか ◇個の空き家対策から、エリアの空き家まちづくりへ ◇多主体連携による空き家からの「掘り起こし力」が地域を変える ◇フロアディスカッション ◇対話交流会 1月22日（水） ◇最先端の空き家まちづくりから「空き家対策条例」の発展的改正を考える ◇社会の困りごとに、多分野連携×多主体連携のソーシャルビジネスで挑む ◇行政×民間×市民の連携による本気度100%の空き家対策を語る ◇医師が商店街の空き店舗に小さな図書館をつくった理由～社会的処方で地域をつなぐ ◇フロアディスカッション ◇対話交流会 参加議員：藤林 詠子	

請 求 書

			¥	7	7	0
--	--	--	---	---	---	---

ただし、振込手数料として
上記の金額を請求いたします。

令和6年11月18日

みらい久留米議員団
代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団
氏 名 藤林 詠子

領 収 書

上記の金額を領収いたしました。

令和6年11月18日

みらい久留米議員団
代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団
氏 名 藤林 詠子



(電信振替専用)

振込金受取書

(兼振込手数料受取書)

振込受付書

2024年11月18日

- 正午以降、特に午後2時以降店舗は大変混雑いたしますので、振込依頼書はなるべく午前中にお持ちいただきますようお願いいたします。
- ご記入間違いなどの不備がありました場合には、照会等のために、お振込が遅延することがあります。
- 通信機器・回線の障害または郵便物の遅延等やむを得ない事由によって振込が送達することがありますのでご了承ください。

お振込先	金融機関名	支店名	預金種目	金額
お受取人	カナガキ	イッパ・ンヤダ・ンホウジン チームマツクリ	振込金額	38,000
お振込人	カナガキ	クルメシキ・カイ ミライクルメシキ インダシ		
お振込人	おなまえ	TEL (0942 - 30 - 9305)		
		携帯 (- -)		

振込手数料
(振込10%)
770
「振込手数料」欄に振込の金額には、
消費税が含まれています。

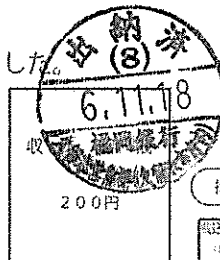
<ふくぎん>をご利用いただきありがとうございました。

株式会社

福岡銀行

(登録番号 T1290001004367)

* 振込金区分が「現金・有価証券」のときは「振込金受取書(兼振込手数料受取書)」として、「左記以外」のときは、「振込受付書(兼振込手数料受取書)」として使用しています。

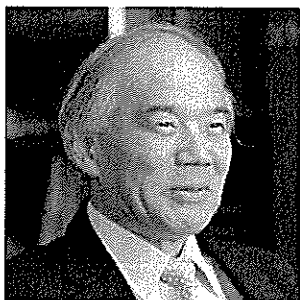


振込金受取書	振込金+振込手数料(10%)以上印鑑	振込受付書	印紙不要
振込金区分 (現金・有価証券)	現金・有価証券 (振込金100円未満)	左記以外 (現金・有価証券・有価証券)	

原本は、研修費に添付

「空き家対策」から考える地域の未来

—多主体連携による政策デザインの変革・“地域”議会の役割—



■ご挨拶

地方分権改革から25年を迎えるなか、地域社会・地方行政を巡る環境は大きく変化しています。

急速な高齢化と人口減少、多発する災害、空き家等による地域の空洞化、深刻化する社会的孤立、情報化社会への対応など複雑で多様な地域課題に対し、私たちは、課題の担い手を行政単独ではなく、多様な主体が連携・共創できる仕組みに変えること、そして、既存制度の延長線上ではない新たな課題解決のアプローチと仕組みを創り出すことが重要と考えています。私たちは、このコンセプトを「政策デザインの変革」と名付けました。

この議員政策セミナーは、こうした考え方のもと、複雑・多様化する空き家問題を「政策デザインの変革」という観点から考える内容として企画しました。本セミナーが、地方議会のプレゼンスを高め、議員各位の政策提案力の向上と日頃の議員活動のさらなる充実の一助となれば幸いです。多くの議員の皆様のご参加をお待ち申しあげております。

令和6(2024)年9月

一般社団法人チームまちづくり 代表理事 大西 隆

日 時: 令和 7(2025)年 1月 21日(火) 10:00~17:00
1月 22日(水) 10:00~17:00

会 場: 全国都市会館(東京都千代田区平河町 2-4-2 アクセスは裏面をご参照ください)

対 象: 地方議会議員、政策スタッフ、議会事務局職員等

定 員: 会場 100名(先着順)(遠方参加者等に限りオンライン可。詳細は裏面をご参照ください)

受講料: 両日参加 38,000円 1日参加 19,000円 (いずれも税込)

セミナー 5つの特色

1. 参加者の問題意識や質問事項を事前に把握し、その内容を反映するよう努めます。
2. 著名講師の話を直接対面で聞き、講師への質問や意見交換が行えます。
3. 予算議会に向けて、議会質問や政策提言に関する相談をお受けします。
4. 新しい発想に基づき第一線で意欲的に活動を行っている当事者の講話を通して活動の本質に直接触れることができます。(実践紹介)
5. 参加者と講師、参加者相互の交流と対話が行えます。(対話交流会)



■第1日—1月21日(火)

空き家対策に関する「政策デザインの変革」を明らかにする!

2014年の空き家特措法制定後10年を契機に、行政主体から多主体連携に、個別対策から総合政策へと政策デザインの変革が期待される空き家まちづくりのこれからと行政・議会の新しい役割について、3名の有識者が具体的に問題提起を行い、参加者とともに議論します。

10:00~10:10 開講・ご挨拶・全体のご案内 (9:30 開場・受付)

10:10~11:50 (講義 70分、意見交換 30分)

●基調講演 空き家問題の本質に、地方行政はどう向き合うのか?

漂谷浩介さん (株)日本総合研究所主席研究員

キーワード:不動産神話、市場経済神話、東京神話、静脈産業不在、行政への押し付け
今に残る昭和の神話に従って量産され、市場経済の機能不全で放置される空き家。そのツケは結局、地方行政に回って来て、住民の将来負担を増やしかねません。2日間のセミナーの冒頭に、厳しい事実認識を共有し、取りうる行動を促します。

(昼食・休憩)

12:50~13:45 (講義 40分、意見交換 15分)

●政策デザインのヒント1

個の空き家対策から、エリアの空き家まちづくりへ

大月敏雄さん 東京大学教授・東京大学高齢社会総合研究機構副機構長

キーワード:コミュニティ、包括的居住支援、住宅地マネジメント
コミュニティの衰退と共助の劣化が懸念されるなか、住民がNPOや民間事業者と連携して、福祉や支え合いも包摂した住宅地経営への処方箋を示します。

13:50~14:45 (講義 40分、意見交換 15分)

●政策デザインのヒント2

多主体連携による空き家の「掘り起こし力」が地域を変える!

野澤千絵さん 明治大学政治経済学部教授

キーワード:都市のスポンジ化、街の世代交代、管理不全空き家
「老いる家 崩れる街~住宅過剰社会の末路」「老いた家 衰えぬ街~住まいを終活する」(講談社現代新書)の著者が、大量相続時代の街の世代交代に向けた政策のあり方を語ります。

(休憩)

15:00~16:00 (ディスカッション 60分)

●フロアディスカッション

大西 隆さん 東京大学名誉教授 元日本学術会議会長

漂谷浩介さん/大月敏雄さん/野澤千絵さん(いずれも再掲)

3名の有識者のプレゼンテーションを踏まえ、空き家対策を担う多様な主体の役割と共創のあり方、新しい発想による政策デザインの提案など、地方行政がとるべき具体的アクションとそのロードマップについて議論を深めます。

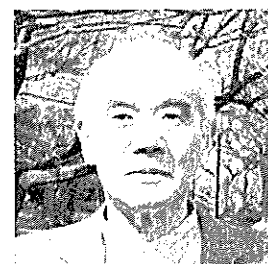
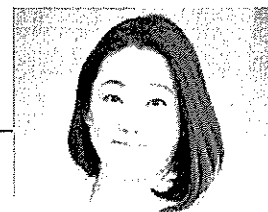
16:05~16:55 (自由参加 50分)

●対話交流会

フロアディスカッションで登壇した講師を囲んだ対話交流会をワールドカフェ方式で行います。また、予算議会に向けて、議会質問や政策提言に関する相談会を行います。(事前申込制)

17:00

閉会



■第2日—1月22日(水)

「社会的包摂」×「関係性の組み換え」が空き家対策の地平を拓く

多主体連携と従来にないアプローチで、社会課題に意欲的に取り組むチャレンジャーをお招きし、政策デザインの変革に繋がる最新の空き家まちづくりの紹介も行いながら、新しいノウハウや資金を地域と共有して「関係性を組み換える」ことについて、参加者とともに考えます。

10:00 開講 (9:30 開場・受付)

10:05~11:45 (講義 70分、意見交換 30分)

●最先端の空き家まちづくりから「空き家対策条例」の発展的改正を考える

松本 昭さん 一般社団法人チームまちづくり専務理事 東京大学非常勤講師

特定空家対策から空き家予防へ、自治会・NPO・民間等による住宅地マネジメント、ふるさと納税や企業寄附の活用など、行政主導ではなく、多主体連携で行う空き家まちづくりの最先端を紹介し、現行の空き家対策条例の発展的改正の要点を示します。

(昼食・休憩)

12:45~13:25 (紹介 30分、質問 10分)

●実践紹介1

社会の困りごとに、多分野連携×多主体連携のソーシャルビジネスで挑む!

中川 悠さん NPO法人チュラキューブ代表理事 (株)GIVE&GIFT代表取締役

高齢者福祉×空き店舗×障がい者雇用など、複数のジャンルの掛け算で生まれる新しい価値観で、社会課題に挑むソーシャルビジネスの仕掛け人が、当事者ならではの言葉で地域の「未来を変える活動」の本質をお話します。

13:30~14:10 (紹介 30分、質問 10分)

●実践紹介2

行政×民間×市民の連携による本気度 100%の空き家対策を語る

金子真也さん 栃木市都市建設部建築住宅課

「国土交通省空き家対策小委員会」に参画する栃木市。約2000戸あった空き家を1700戸余りに減少させるなど、豊富な実績をあげる公民連携の多様な空き家対策のリアルを熱く語ります。

14:15~14:55 (紹介 30分、質問 10分)

●実践紹介3

医師が商店街の空き店舗に小さな図書館をつくった理由—社会的処方で地域をつなぐ

守本陽一さん 医師 一般社団法人ケアと暮らしの編集社代表理事

兵庫県豊岡市の商店街で民間のシェア型図書館「だいかい文庫」を運営。まちの小規模多機能拠点として、病院では解決できない課題を地域で支える社会的処方を実践。暮らすことで誰もが健康になるまちをめざして。

(休憩)

15:00~16:00 (ディスカッション 60分)

●フロアディスカッション

中川 悠さん/金子真也さん/守本陽一さん/松本 昭さん(いずれも再掲)

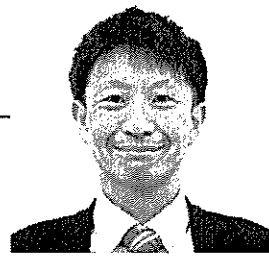
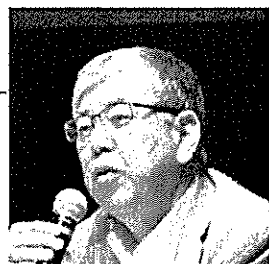
3つの実践紹介等を素材に、空き家・空き店舗を活用した多主体による連携・共創が、持続性ある包摂・共生型地域社会づくりに寄与するための行政・議会の役割について議論します。

16:05~16:55 (自由参加 50分)

●対話交流会

フロアディスカッションで登壇した講師を囲んだ対話交流会をワールドカフェ方式で行います。また、予算議会に向けて、議会質問や政策提言に関する相談会を行います。(事前申込制)

17:00 閉会



※セミナーの内容については、都合により一部変更になる場合があります。

■セミナーのお申し込み方法など

お申し込み(下記のいずれかの方法でお申込ください)

申込フォーム : 右 QRコード又は HPからお申し込みください

<https://www.team-machizukuri.org/>

FAX : 03-5577-4149 (下部の申込書をご利用ください)



申込フォーム

受講料(会場・オンラインとも同額)

1月21日(火)・22日(水) 両日参加 38,000円(税込)

上記のいずれか 一日参加 19,000円(税込)

- ①お申込確認後、受講案内及び受講料の振込口座をメールにてご案内いたします。
- ②オンラインでの参加は、原則、遠方の方に限ります。なお、セミナー運営上、対話交流会、相談会への参加は難しいことをご理解願います。
- ③各日、会場定員100名で締め切ります。また、12月末日時点で50名に満たない場合、受講料を全額返金し、セミナーを中止する場合があります。
- ④セミナーの申し込み後、やむを得ずキャンセルする場合は、返金する口座情報を明記の上、必ずメールでのご連絡をお願いします。キャンセルする場合、令和7(2025)年1月11日以降のキャンセルにつきましては、キャンセル料が発生します。※その他、詳細は、当社ホームページをご覧ください。(下記 QRコード、URL)

会場及びアクセス

全国都市会館 3F 第2会議室

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2

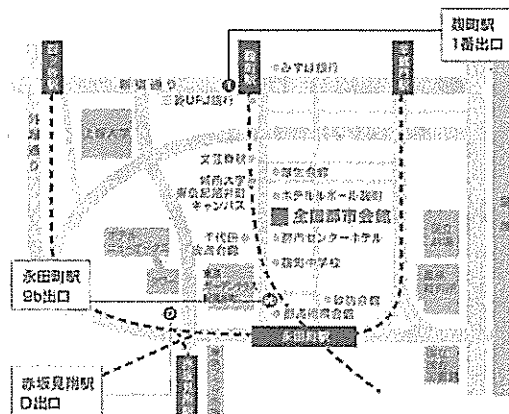
TEL: 03-3262-5231 FAX: 03-3261-5535

<https://www.toshikaikan.or.jp/>

(交通)地下鉄有楽町線「麹町駅」1番出口 徒歩 3分

地下鉄半蔵門線他「永田町駅」9b出口 徒歩 4分

地下鉄銀座線他「赤坂見附駅」D出口(弁慶口) 徒歩 7分



お問い合わせ

一般社団法人 チームまちづくり 議員政策セミナー担当

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 11-2 第一東英ビル 5F

TEL: 03-5577-4148 FAX: 03-5577-4149 MOB: 090-4128-2070(松本)

Mail: seminar@team-machizukuri.org <https://www.team-machizukuri.org/>



チームまちづくり HP

■参加申込書 (FAXは、このまま切り取らずに送信してください) ★=必須項目

★氏 名(ふりがな) ふじばら えり 藤林 詠子	所属団体名 久留米市議会 みらい久留米議員団
住 所 〒830-8520 福岡県 久留米市城野町15-3	
★電話(携帯) 0942-30-9305	★領収証宛名 みらい久留米議員団藤林詠子
★メール gikai @ city.kurume.lg.jp	
★参加予定日(該当に○)	
1/21・22(両日参加)	会場参加【 〇 】・オンライン【 】
1/21のみ参加	会場参加【 】・オンライン【 】
1/22のみ参加	会場参加【 】・オンライン【 】

通信欄

*第三者への個人情報の開示・提供は、ご本人の同意がなければ行いません。

*ご記入頂いた個人情報は、当社主催のセミナー等のご案内に利用させていただく場合があります。

令和6年10月

地方議会議員政策セミナー
空き家対策から考える地域の未来

―多主体連携による政策デザインの変革・“地域”議会の役割―

一般社団法人チームまちづくり

このたびは、一般社団法人チームまちづくり主催の標記セミナーにお申し込みを頂き、誠にありがとうございます。次のとおり、議員政策セミナーのご案内をします。内容をご確認頂き、受講料のお振込みをお願い申し上げます。

1 受講料のお振込み

下記口座に受講料のお振込みをお願いします。(両日参加 38,000 円、一日参加 19,000 円)

お振込み時には、お名前の後にご所属を付記して頂きますと助かります。(例：チーム太郎 (〇市議会))

金融機関名・支店名：	
口座種類・口座番号：	口座名義人：一般社団法人 チームまちづくり

2 受講票とセミナーテーマに関する意向把握

12 月から 1 月にかけて、空き家対策・空き家まちづくりに関する関心ごと、質問事項など受講者の皆様のご意向や問題意識を把握する調査票を、受講票とともにメールにてお送りしますので、ご協力をお願い申し上げます。ご回答頂いた内容は、セミナーへの反映に努めます。

3 議会質問や政策提言に関するご相談

セミナーテーマに関する議会質問や政策提言に関するご相談は、適宜メールにてお受けいたします。お気軽にご相談ください。

4 オンライン受講者へのご案内

オンライン (Zoom) によりご参加される皆様には、令和7年1月14日までに、オンライン URL 等をお送りします。なお、各日の最後にあります対話交流会、相談会などにつきましては、運営上ご参加が難しいことをご了承ください。

5 特記事項

- 領収書につきましては、セミナー当日、受付にてお渡しさせていただきます。
- ご宿泊や昼食等につきましては、各自でのご対応をお願いします。
- セミナー申込後、やむを得ずキャンセルする場合は、返金する口座情報を明記の上、必ずメールでのご連絡をお願いします。振込手数料を差し引いた金額をご指定の口座に振り込みます。なお、令和7(2025)年1月11日以降のキャンセルにつきましては、下記のとおりキャンセル料が発生しますので、ご注意ください。

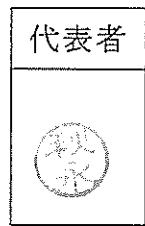
令和7(2025)年1月11日～15日のご連絡	受講料の25%
令和7(2025)年1月16日～20日のご連絡	受講料の50%
開催日当日又はご連絡なしのご欠席	受講料の100%(全額)

- 令和6(2024)年12月末日時点において、参加申込者が各日50名に達しない場合、セミナーの開催を中止する場合があります。その場合、セミナー受講料は、全額をご指定口座に返金いたします。

(お問い合わせ先) 一般社団法人チームまちづくり 松本 昭
101-0053 東京都千代田区神田美土代町11-2 第一東英ビル5階
TEL03-5577-4148 FAX03-5577-4149 Mob090-4128-2070

Mail: seminar@team-machizukuri.org

Mail: a.macchan@nifty.com



支 出 書

決定日：令和6年 11月 28日

支 出 金 額	6, 7 3 2 円
支 出 科 目	事務費
支 出 先	みらい久留米議員団 代表者 秋永 峰子
支 出 年 月 日	令和6年 11月 28日
摘 要 令和6年9月分 タブレット端末通信料として 会派議員4名分 $(3, 366 \text{ 円} \times 2 \text{ 分の} 1 = 1, 683 \text{ 円}) \times 4 \text{ 名分}$	

請 求 書

		¥	6	7	3	2
--	--	---	---	---	---	---

ただし、 事務費（9 月分タブレット端末通信料 4 名分） として
上記の金額を請求いたします。

令和 6 年 11 月 28 日

みらい久留米議員団
代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団
代表者 秋永 峰子

領 収 書

上記の金額を領収いたしました。

令和 6 年 11 月 28 日

みらい久留米議員団
代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団
代表者 秋永 峰子



納入通知書兼領収書

呼出番号：02092078

〒	830-0022
住所	福岡県久留米市城南町15-3
みらい久留米議員団 代表者 秋永 峰子	
様	

令和 06 年度 所属 600100 議会事務局総務課

会計 01 款 22 項 06 目 04 節 01

細節 08 自己負担金

細々節

上記のとおり納入してください。 久留米市長

令和 6 年 10 月 11 日

原口 新五



金額	¥6,732円
納期限	令和 6 年 11 月 29 日
摘要	9 月分タブレット端末通信料 (4 名・政務活動費負担分) @1,683 円×4 名=6,732 円

上記のとおり納入しました。

(納入者保管)



タブレット端末1台あたりの金額明細

契約者	利用月	内訳種目	金額	備考
久留米市	9月分	基本使用料	2,360	5Gデータプラン
		5G/パケット通信料	3,803	5G/パケット通信料[一般]
		無料通信料(当月)	-3,803	共有無料パケット通信適用額
		付加機能使用料	300	spモード利用料
		付加機能使用料	-300	付加機能使用料割引額
		付加機能使用料	450	レンタルあんしん補償OP利用料
		付加機能使用料	250	CLOMO MDM for ビジネスプラス
		ユニバーサルサービス料	2	ユニバーサルサービス料/基本 1番号あたり2円のご請求となります
		ユニバーサルサービス料	-2	基本使用料割引額
		電話リレーサービス料	1	電話リレーサービス料/基本 1番号あたり1円のご請求となります
		電話リレーサービス料	-1	基本使用料割引額
		消費税	306	消費税等相当額(合計) 合算表示の料金合計×10%
		小計	3,366	

代表者



支 出 書

決定日：令和6年11月28日

支 出 金 額	15,000円
支 出 科 目	研修費
支 出 先	みらい久留米議員団 石田 眞一郎
支 出 年 月 日	令和6年11月28日
摘 要 研修会参加費として 日時：令和7年1月29日（水）～1月31日（金） 場所：沖縄県那覇市 主催：第20回全国地方議員交流研修会実行委員会 内容：第20回全国地方議員交流研修会 in 沖縄 1月29日（水） ◇記念講演 沖縄、日本を再び戦場にさせてならない ◇問題提起 ・欧米 G7 からグローバルサウスの時代へ、われわれはどうするか ・食料自給向上のための提言 ◇特別報告 ・米軍基地・自衛隊基地に翻弄される沖縄 ・日中不再戦 九州自治体議員の会 ・食料自給の確立を求める自治体議員連盟 ◇基調提案 1月30日（木） ◇分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割 ◇全体会 1月31日（金） ◇沖縄現地フィールドワーク 沖縄をたどる 参加議員：石田 眞一郎	

請 求 書

	¥	1	5	0	0	0
--	---	---	---	---	---	---

ただし、研修会参加費

上記の金額を請求いたします。

令和6年11月28日

みらい久留米議員団

代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団

氏 名 石田 眞一郎

領 収 書

上記の金額を領収いたしました。

令和6年11月28日

みらい久留米議員団

代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団

氏 名 石田 眞一郎



領 収 証

2024 年 11 月 28 日

久留米市議会 みらい久留米議員団
石田 眞一郎 様

一金 ￥15,000 円

第 20 回全国地方議員交流研修会 (2025 年 1 月 29 日～30 日)
参加費
として
上記まさに領収しました。

全国地方議員交流研修会実行委員会
事務局 会計担当

〒212-0011 川崎市幸区幸町 4 の 8 青柳ビル 2 F
TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066

00

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	[REDACTED]									
加入者名	広範な国民連合									
金額	千	百	十	万	千	百	十	円		
				1	5	0	0	0		
ご依頼人	おなまえ 久留米市議会 みらい久留米議員団 石田 眞一郎 様									
料金	(消費税込み) 日 附 印 203 円 内税10%18円 06-11-28 T501000111 2730 ヲウチヨ (74174) N94260017									
備考	現金扱									

この受領証は、大切に保管してください。

第20回全国地方議員交流研修会参加申込書

2024年 11月 / 日

ふりがな 氏 名	いしだ しんいちろう 石田 真一郎	参加種別	(議員) 一般
職業・肩書き (一般参加の)		(自治体名)	(久留米市) 議会議員
		議員任期	令和9年5月まで
所属委員会	建設常任委員会	会派名	みらい久留米議員団
住 所	〒830-8320 久留米市城南町15番地3		
F A X	0942-30-9700	電 話	0942-30-9305
Eメールアドレス	gikai@city.kurume.lg.jp		

以下の選択肢に○をつけてください

2025年1月 【第1日】29日(水) 全体会	(出席) 欠席	
名 刺 交 換 会	出席	(欠席)
【第2日】30日(木) 分科会	(出席) 欠席	
分 科 会 第1希望する分科会 に○印を第2希望には △印をお願いします	第1○日中不再戦 自治体・議員の役割 第2 農業・農村を守り、食料自給を確立するために 第3 岐路に立つ日本の社会保障 地域のケアをどう支えるか 第4△「こども計画策定」にあたって こどもの貧困の解消へ 第5 防災・復興、原発問題を考える 地域主体の再生へ	
【第2日】30日(木) 全体会	(出席) 欠席	
【第2日】30日(木) 昼食弁当	注文する	(不要)
【第3日】31日(金) オプション 現地フィールドワーク	(参加) (不参加)	a) 沖縄戦をたどる b) 米軍基地と辺野古現地視察

▼ 申込み方法 FAX→044-541-2066

郵 送→〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F

第20回全国地方議員交流研修会実行委員会全国事務局

メール→giin@kokuminrengo.net

電話090-8588-8307

右のQRコードまたは下記のURLからも申し込めます。

<https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q>

(※申込用紙が足りない場合はコピーをお願いします。)

参加に変更



氏 名 (ふりがな)		石田 眞一郎 様 (いしだ / しんいちろう)	
肩書		久留米市議会議員	
2025年1月 【第1日】29日(水) 全体会		出席	
名 刺 交 換 会		欠席	
【第2日】30日(木) 分科会		出席	
分 科 会	第1希望	第1分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割	
	第2希望	第4分科会 「こども計画策定」にあたって こどもの貧困の解消へ	
【第2日】30日(木) 全体会		出席	
【第2日】30日(木) 昼食弁当			
【第3日】31日(金) オプション 現地フィールドワーク		参加しない	(変更) 参加 〇 沖縄県をたどる
参加費等 未 納			
参加費		15,000 円	
名刺交換会費		円	
弁当代		円	
合計		15,000 円	

全国地方議員交流研修会 in 沖縄

「延期のお知らせ」※予想される総選挙との関係で前回ご案内の開催日を10月29日(火)から2025年1月29日(水)へと3カ月延期致しました。

2025年 1月 29日(水) ・ 30日(木)

全体会 13:00—17:30
12:00開場 (12:30受付)

琉球新報ホール

那覇市泉崎1丁目10番3号 Tel.098-865-5256

名刺交換会 18:00—19:30
※希望者のみ 参加費別途6,000円

沖縄県青年会館

沖縄県那覇市久米2-15-23 Tel.098-864-1780

2日目 分科会 9:30—13:00
9:00開場

全体会 14:00—16:00

沖縄県市町村自治会館

沖縄県那覇市旭町116-37 Tel. 098-862-8181

3日目 31日(金) 9:00出発
15:00頃終了予定

オプション

沖縄現地フィールドワーク

※希望者のみ 参加費別途

Aコース: 沖縄戦をたどる

Bコース: 米軍基地と辺野古
現地視察

1日目: 1月29日(水)

- 開会挨拶
- 来賓・各界からのご挨拶

- 記念講演
「沖縄、日本を再び戦場にさせてはならない」
玉城 デニー 沖縄県知事

- 問題提起
「欧米G7からグローバルサウスの時代へ
われわれはどうするか?」
羽場 久美子 さん (青山学院大学名誉教授)

- 「食料自給向上のための提言」(オンライン)
鈴木 宣弘 さん (東京大学院教授)

- 特別報告
○「米軍基地・自衛隊基地に翻弄される沖縄」
三上 智恵さん (映画監督)

- 日中不再戦 九州自治体議員の会
- 食料自給の確立を求める自治体議員連盟 他

- 基調提案 実行委員会

沖縄県平和祈念公園「平和の礎」/「さざなみの池 (平和の火)」
沖縄県糸満市摩文仁444

中央の噴水から「さざなみの池」に流れ落ちる水は波紋をつくり、刻銘板まで放射状に広がっていきようデザインされています。その波は「平和の波」となって世界中に広がっていきようとの願いが込められています。「平和の火」は、沖縄戦最初の米軍上陸地である阿嘉島で採取した火と、被爆地：広島・長崎からいただいた火を合わせたもので、慰霊の日などに灯されます。

参加費

都道府県市区議会議員 15,000円 / 町村議会議員 5,000円 / 一般 1,000円 / 大学生・高校生以下 無料
別途希望者のみ ※名刺交換会費 +6,000円 ※2日目の弁当代(お茶付き) +1,000円
※フィールドワーク参加費 実費 (おおよそ3,000~4,000円)

申込方法

- 第20回全国地方議員交流研修会 下記webサイトの専用申込みフォームからお申込みください。
<https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q> 右のQRコードからも申し込めます。
- FAXでのお申込みは、FAX申込み用紙をダウンロード、印刷してお申込みください。
- 申込み用紙の郵送をご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。

第1次締切 12月20日

問合せ

全国実行委員会事務局 自主・平和・民主のための広範な国民連合全国事務局
〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F
TEL. 090-8588-8307 (担当: ■■■) E-mail: giin@kokuminrengo.net FAX. 044-541-2066

主催: 第20回 全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表: 北口 雄幸 (北海道議会議員) 藤本 真利子 (和歌山県議会議員) 山内 未子 (沖縄県議会議員)



第20回 全国地方議員交流研修会のご案内

世界の変化は明瞭となっています。これまで世界を支配してきた欧米の「先進国」が衰退し、中国、インドなどこれまで抑圧されてきたグローバルサウスの国々に世界経済と政治の重心が移っています。

ロシア・ウクライナ戦争から2年半が経ち、イスラエル・パレスチナ戦争も停戦にいたらず莫大な犠牲が出続けています。世界の格差は拡大して飢餓人口は7億3500万人に、難民数も1億人を越えたといわれています。戦争と貧困をなくすために、日本がとるべき道が厳しく問われています。中国脅威、「台湾有事」が喧伝され、防衛費は倍増、「専守防衛」は事実上放棄、自衛隊ミサイル基地が全国で次々と配備され、大規模な日米合同軍事演習も行われています。その一方で、異常な円安、物価高のなかで国民生活や経営は圧迫されています。財政難を理由に社会保障の後退が進み、地域経済は厳しく、農山村は存続の淵においやられています。戦争への不安や生活苦からの打開を求める国民の願いに、政府も、また与野党の政党も応えられず、国民の政治不信はますます深まっている状況です。住民の生活と福祉に密着している地方・自治体から、国の政治を変えていかなければならないと思います。

今年の全国地方議員交流研修会は、「二度と戦場にさせない」と平和を希求する県民意思が強く示されている沖縄県で開催します。沖縄県は県独自の地域・平和外交を推進し、アジアとの経済交流による地域経済の発展とアジアの平和への展望を模索しています。一日目は、玉城デニー・沖縄県知事の基調講演のほか、各方面の特別報告での研修、二日目は5つの分科会での研修・討論を行います。昨年からすすんだ「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」、「日中不再戦自治体議員の会」をさらに発展させるなど、今後の連携と行動についても話しあいます。三日目は沖縄戦の戦跡めぐりと米軍基地・辺野古基地建設の視察を行います。

沖縄現地の自治体議員のみなさんが受け入れを準備されています。全国の党派をこえた自治体議員同士の研修・交流を深め、平和と国民生活、地域主権を守る運動を前進させましょう。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

2日目: 1月30日(木) 9:30-16:00 (9:00開場) 会場: **沖縄県市町村自治会館** 那覇市旭町116-37 Tel. 098-862-8181

分科会 9:30-13:00

● 第1分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割

問題提起: 羽場 久美子 さん(青山学院大学名誉教授)

沖縄県の平和・地域外交の実践／全国の米軍、自衛隊基地強化の実態を知る／日中不再戦の自治体議員のネットワークを

● 第2分科会 農業・農村を守り、食料自給を確立するために

問題提起: 鈴木 宣弘 さん(東京大学大学院教授)

「全国各自治体での実践、世論喚起のために」(オンライン)

● 第3分科会 岐路に立つ日本の社会保障 地域のケアをどう支えるか

問題提起: 伊藤 周平 さん(鹿児島大学教授)

● 第4分科会 「こども計画策定」にあたって こどもの貧困の解消へ

問題提起: 山内 優子 さん(沖縄子どもの貧困解消ネットワーク共同代表)
「沖縄の子どもの貧困から見えてくるもの」

問題提起: 木本 邦広 さん(沖縄県教職員組合 委員長)
「教員の働き方改革について」

● 第5分科会 防災・復興、原発問題を考える 地域主体の再生へ

事例報告: 能登半島地震から10か月の現状

問題提起: 小口 幸人 さん(南山法律事務所弁護士)
「支援制度から災害への備えを考える」

全体会 14:00-16:00

● 各分科会報告 ● 討論、アピール採択 ● まとめ・閉会

3日目: 1月31日(金)

オプション沖縄現地フィールドワーク(※参加費別)

Aコース: 沖縄戦をたどる/Bコース: 米軍基地と辺野古現地視察

各会場へのアクセス

● 琉球新報ホール

ゆいレール 「県庁前駅」から徒歩3分

バス 「県庁北口」バス停下車
徒歩2分

● 沖縄県青年会館

ゆいレール 「県庁前駅」から徒歩5分

バス 「久茂地」バス停下車
徒歩2分

● 沖縄県市町村自治会館

ゆいレール 「旭橋駅」から徒歩3分

バス 「那覇バスターミナル」下車
徒歩3分



代表者



支 出 書

決定日：令和6年11月29日

支 出 金 額	203円
支 出 科 目	事務費
支 出 先	みらい久留米議員団 石田 眞一郎
支 出 年 月 日	令和6年11月29日
摘 要 振込手数料として 日時：令和7年1月29日（水）～1月31日（金） 場所：沖縄県那覇市 主催：第20回全国地方議員交流研修会実行委員会 内容：第20回全国地方議員交流研修会 in 沖縄 1月29日（水） ◇記念講演 沖縄、日本を再び戦場にさせてならない ◇問題提起 ・欧米 G7 からグローバルサウスの時代へ、われわれはどうするか ・食料自給向上のための提言 ◇特別報告 ・米軍基地・自衛隊基地に翻弄される沖縄 ・日中不再戦 九州自治体議員の会 ・食料自給の確立を求める自治体議員連盟 ◇基調提案 1月30日（木） ◇分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割 ◇全体会 1月31日（金） ◇沖縄現地フィールドワーク 沖縄をたどる 参加議員：石田 眞一郎	

請 求 書

			¥	2	0	3
--	--	--	---	---	---	---

ただし、振込手数料として
上記の金額を請求いたします。

令和6年11月29日

みらい久留米議員団
代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団
氏 名 石田 眞一郎

領 収 書

上記の金額を領収いたしました。

令和6年11月29日

みらい久留米議員団
代表者 秋永 峰子 様

みらい久留米議員団
氏 名 石田 眞一郎



領 収 証

2024 年 11 月 28 日

久留米市議会 みらい久留米議員団
石田 眞一郎 様

一金 ￥15,000 円

第 20 回全国地方議員交流研修会 (2025 年 1 月 29 日～30 日)
参加費
として
上記まさに領収しました。

全国地方議員交流研修会実行委員会
事務局 会計担当

〒212-0011 川崎市幸区幸町 4 の 8 青柳ビル 2 F
TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066

00 振替払込請求書兼受領証

原本は、研修参加費に添付

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

口座記号番号	[Redacted]	
加入者名	広範な国民連合	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 1 5 0 0 0	
おなまえ ご依頼人	久留米市議会 みらい久留米議員団 石田 眞一郎 様	
料金 (消費税込み)	203 円	日 附 印 内税10*18円 06-11-28 T501000111 2730 2730 (74174) N94260017
備考	現金扱	

この受領証は、大切に保管してください。

第20回全国地方議員交流研修会参加申込書

2024年 11月 / 日

ふりがな 氏 名	いいた しんいちろう 石田 真一郎		参加種別	(議員) 一般
職業・肩書き (一般参加の)			(自治体名)	(久留米市) 議会議員
所属委員会	建設常任委員会		議員任期	令和9年5月まで
住 所	〒830-8500 久留米市城所町15番地3		会 派 名	みらい久留米議員団
F A X	0942-30-9700	電 話	0942-30-9305	
Eメールアドレス	gikai@city.kurume.lg.jp			

以下の選択肢に○をつけてください

2025年1月 【第1日】29日(水) 全体会	(出席) 欠席	
名 刺 交 換 会	出席	(欠席)
【第2日】30日(木) 分科会	(出席) 欠席	
分 科 会 第1 希望する分科会 に○印を第2希望には △印をお願いします	第1 ○日中不再戦 自治体・議員の役割 第2 農業・農村を守り、食料自給を確立するために 第3 岐路に立つ日本の社会保障 地域のケアをどう支えるか 第4 △「こども計画策定」にあたって こどもの貧困の解消へ 第5 防災・復興、原発問題を考える 地域主体の再生へ	
【第2日】30日(木) 全体会	(出席) 欠席	
【第2日】30日(木) 昼食弁当	注文する	(不要)
【第3日】31日(金) オプション 現地フィールドワーク	(参加) (不参加)	a 沖縄戦をたどる b 米軍基地と辺野古現地視察

▼ 申込み方法 FAX→044-541-2066

郵 送→〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F

第20回全国地方議員交流研修会実行委員会全国事務局

メール→giin@kokuminrengo.net

電話090-8588-8307

右のQRコードまたは下記のURLからも申し込めます。

<https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q>

(※申込用紙が足りない場合はコピーをお願いします。)



参加に変更

別紙

確認表

発送No.83

氏 名 (ふりがな)		石田 眞一郎 様 (いしだ / しんいちろう)	
肩書		久留米市議会議員	
2025年1月 【第1日】29日(水) 全体会		出席	
名 刺 交 換 会		欠席	
【第2日】30日(木) 分科会		出席	
分 科 会	第1希望	第1分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割	
	第2希望	第4分科会 「こども計画策定」にあたって こどもの貧困の解消へ	
【第2日】30日(木) 全体会		出席	
【第2日】30日(木) 昼食弁当			
【第3日】31日(金) オプション 現地フィールドワーク		参加しない	(変更) 参加 O 沖縄県をたどる
参加費等 未 納			
参加費		15,000 円	
名刺交換会費		円	
弁当代		円	
合計		15,000 円	

全国地方議員交流研修会 in 沖縄

「延期のお知らせ」※予想される総選挙との関係で前回ご案内の開催日を10月29日(火)から2025年1月29日(水)へと3カ月延期致しました。

2025年 1月 29日(水) ・ 30日(木)

全体会 13:00—17:30
12:00開場 (12:30受付)

琉球新報ホール

那覇市泉崎1丁目10番3号 Tel.098-865-5256

名刺交換会 18:00—19:30
※希望者のみ 参加費別途6,000円

沖縄県青年会館

沖縄県那覇市久米2-15-23 Tel.098-864-1780

2日目

分科会 9:30—13:00
9:00開場

全体会 14:00—16:00

沖縄県市町村自治会館

沖縄県那覇市旭町116-37 Tel. 098-862-8181

3日目

31日(金) 9:00出発
15:00頃終了予定

オプション

沖縄現地フィールドワーク

※希望者のみ 参加費別途

Aコース: 沖縄戦をたどる

Bコース: 米軍基地と辺野古
現地視察

1日目: 1月29日(水)

- 開会挨拶
- 来賓・各界からのご挨拶
- 記念講演
「沖縄、日本を再び戦場にさせてはならない」
玉城 デニー 沖縄県知事
- 問題提起
「欧米G7からグローバルサウスの時代へ
われわれはどうするか?」
羽場 久美子 さん (青山学院大学名誉教授)



- 特別報告
「食料自給向上のための提言」(オンライン)
鈴木 宣弘 さん (東京大学院教授)



- 特別報告
○「米軍基地・自衛隊基地に翻弄される沖縄」
三上 智恵さん (映画監督)



- 日中不再戦 九州自治体議員の会
- 食料自給の確立を求める自治体議員連盟 他
- 基調提案 実行委員会



沖縄県平和祈念公園「平和の礎」/「さざなみの池(平和の火)」
沖縄県糸満市摩文仁444

中央の噴水から「さざなみの池」に流れ落ちる水は波紋をつくり、刻銘板まで放射状に広がっていくようデザインされています。その波は「平和の波」となって世界中に広がっていくようにとの願いが込められています。「平和の火」は、沖縄戦最初の米軍上陸地である阿嘉島で採取した火と、被爆地：広島・長崎からいただいた火を合わせたもので、慰霊の日などに灯されます。

参加費

都道府県市区議会議員 15,000円 / 町村議会議員 5,000円 / 一般 1,000円 / 大学生・高校生以下 無料
別途希望者のみ ※名刺交換会費 +6,000円 ※2日目の弁当代(お茶付き) +1,000円
※フィールドワーク参加費 実費 (おおよそ3,000~4,000円)

申込方法

- 第20回全国地方議員交流研修会 下記webサイトの専用申込みフォームからお申込みください。
<https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q> 右のQRコードからも申し込めます。
- FAXでのお申込みは、FAX申込み用紙をダウンロード、印刷してお申込みください。
- 申込み用紙の郵送をご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。

第1次締切 12月20日



問合せ

全国実行委員会事務局 自主・平和・民主のための広範な国民連合全国事務局
〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F
TEL. 090-8588-8307 (担当: ■■■) E-mail: giin@kokuminrengo.net FAX. 044-541-2066

主催: 第20回 全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表: 北口 雄幸 (北海道議会議員) 藤本 真利子 (和歌山県議会議員) 山内 未子 (沖縄県議会議員)



第20回 全国地方議員交流研修会のご案内

世界の変化は明瞭となっています。これまで世界を支配してきた欧米の「先進国」が衰退し、中国、インドなどこれまで抑圧されてきたグローバルサウスの国々に世界経済と政治の重心が移っています。

ロシア・ウクライナ戦争から2年半が経ち、イスラエル・パレスチナ戦争も停戦にいたらず莫大な犠牲が出続けています。世界の格差は拡大して飢餓人口は7億3500万人に、難民数も1億人を越えたといわれています。戦争と貧困をなくすために、日本がとるべき道が厳しく問われています。中国脅威、「台湾有事」が喧伝され、防衛費は倍増、「専守防衛」は事実上放棄、自衛隊ミサイル基地が全国で次々と配備され、大規模な日米合同軍事演習も行われています。その一方で、異常な円安、物価高のなかで国民生活や経営は圧迫されています。財政難を理由に社会保障の後退が進み、地域経済は厳しく、農山村は存続の淵においやられています。戦争への不安や生活苦からの打開を求める国民の願いに、政府も、また与野党の政党も応えられず、国民の政治不信はますます深まっている状況です。住民の生活と福祉に密着している地方・自治体から、国の政治を変えていかなければならないと思います。

今年の全国地方議員交流研修会は、「二度と戦場にさせない」と平和を希求する県民意思が強く示されている沖縄県で開催します。沖縄県は県独自の地域・平和外交を推進し、アジアとの経済交流による地域経済の発展とアジアの平和への展望を模索しています。一日目は、玉城デニー・沖縄県知事の基調講演のほか、各方面の特別報告での研修、二日目は5つの分科会での研修・討論を行います。昨年からすすんだ「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」、「日中不再戦自治体議員の会」をさらに発展させるなど、今後の連携と行動についても話しあいます。三日目は沖縄戦の戦跡めぐりと米軍基地・辺野古基地建設の視察を行います。

沖縄現地の自治体議員のみなさんが受け入れを準備されています。全国の党派をこえた自治体議員同士の研修・交流を深め、平和と国民生活、地域主権を守る運動を前進させましょう。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

2日目: 1月30日(木) 9:30-16:00 (9:00開場) 会場: **沖縄県市町村自治会館** 那覇市旭町116-37 Tel. 098-862-8181

分科会 9:30-13:00

● 第1分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割

問題提起: 羽場 久美子 さん(青山学院大学名誉教授)

沖縄県の平和・地域外交の実践／全国の米軍、自衛隊基地強化の実態を知る／日中不再戦の自治体議員のネットワークを

● 第2分科会 農業・農村を守り、食料自給を確立するために

問題提起: 鈴木 宣弘 さん(東京大学大学院教授)

「全国各自治体での実践、世論喚起のために」(オンライン)

● 第3分科会 岐路に立つ日本の社会保障 地域のケアをどう支えるか

問題提起: 伊藤 周平 さん(鹿児島大学教授)

● 第4分科会 「こども計画策定」にあたって こどもの貧困の解消へ

問題提起: 山内 優子 さん(沖縄子どもの貧困解消ネットワーク共同代表)
「沖縄の子どもの貧困から見えてくるもの」

問題提起: 木本 邦広 さん(沖縄県教職員組合 委員長)
「教員の働き方改革について」

● 第5分科会 防災・復興、原発問題を考える 地域主体の再生へ

事例報告: 能登半島地震から10か月の現状

問題提起: 小口 幸人 さん(南山法律事務所弁護士)
「支援制度から災害への備えを考える」

全体会 14:00-16:00

● 各分科会報告 ● 討論、アピール採択 ● まとめ・閉会

3日目: 1月31日(金)

オプション沖縄現地フィールドワーク(※参加費別)

Aコース: 沖縄戦をたどる/Bコース: 米軍基地と辺野古現地視察

各会場へのアクセス

● 琉球新報ホール

ゆいレール 「県庁前駅」から徒歩3分

バス 「県庁北口」バス停下車
徒歩2分

● 沖縄県青年会館

ゆいレール 「県庁前駅」から徒歩5分

バス 「久茂地」バス停下車
徒歩2分

● 沖縄県市町村自治会館

ゆいレール 「旭橋駅」から徒歩3分

バス 「那覇バスターミナル」下車
徒歩3分

